

【様式2】

学生等の学びを継続するための緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生等の学びを継続するための緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑤の申請要件について、満たしている項目を確認しました。

要件チェック項目	チェック欄(レ)	金額(年額)
①自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない		
②家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2020年度の仕送り年額を記載すること		万円
③家庭(両親のいずれか)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない		
④新型コロナウイルス感染症によりアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)に影響を受けており、1)～3)いずれかの状況となっている		
1) 新型コロナウイルス感染症の影響で想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している		
2) コロナ禍前と比較して、アルバイト収入が大きく減少(50%以上減少)し、その状況が本年度になっても改善していない		
3) アルバイト収入が増加や一定水準に達していたとしても、家庭の経済状況が悪化したこと等の理由により、アルバイト収入を増やさざるを得ず、修学の継続が困難となっている		
⑤既存の支援制度について以下のいずれかを満たす		
1) 高等教育の修学支援新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であって、第一種奨学金(無利子奨学金)の限度額まで利用している者		
2) 高等教育の修学支援新制度の対象外であって、第一種奨学金(無利子奨学金)の限度額まで利用している者		
3) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金(無利子奨学金)を利用できないが、大学等独自の奨学金や民間等を含め申請が可能な支援制度、外国人留学生学習奨励費等を利用している者若しくは利用を予定している者		

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和 年 月 日

学校名 武蔵野美術大学通信教育課程 学科/コース名

学籍番号

署名:

記入上の注意

要件チェック項目①～⑤について

- ・この各項目は審査上、重要です。「申請の手引き」の説明をよく読んで記入してください。
- ・チェックを入れて自己申告した項目について、【様式1】の「3.申し送り事項」の欄に①②③…の番号の順番に、具体的な内容を説明してください。
- ・①において、自宅生で、家庭からの援助を受けていない場合は、【様式1】の「3.申し送り事項」の欄に状況を具体的に説明してください。
「親から援助を受けず、自分の生活費を毎月アルバイトで〇〇円稼いでいる。」等
- ・②で仕送りや援助を受けていない場合は、金額の場所に0を記入してください（空欄は書類不備となります）。仕送りを受けている場合は、仕送り額は授業料込みなのか、授業料は振り込みで別なのかを金額横に記入してください。
- ・②の仕送りの金額は年額です。1ヶ月当たりの金額を12倍してください。
- ・③にチェックを入れた場合は、両親の収入が減少した具体的な状況と追加支援が期待できない理由を【様式1】の「3.申し送り事項」の欄に説明してください。家庭の収入が減ってない場合は、該当しません。
- ・④の対象は2020年1月以降です。1)の場合は、具体的にいつから何をする予定で実際に応募したが、職を得られなかったか、具体的な状況を【様式1】の「3.申し送り事項」に記入してください（不採用通知のコピー添付）。2)の場合は、減収前と減収後について、【様式1】の「3.申し送り事項」または給与明細や通帳のコピーの余白に、減少の様子について説明してください。給与明細や通帳のコピーを提出する場合は、減少がわかる2ヶ月分のもので、該当箇所にアンダーラインを引いてください。3)の場合は、アルバイトを増やさざるを得なかった状況を具体的に【様式1】の「3.申し送り事項」に説明してください。
- ・⑤で3)を選択した場合で、日本学生支援機構・大学以外の支援制度を利用している方は、証明書類のコピーを添付してください。日本学生支援機構・大学以外の支援制度の利用を予定している方は、出願を予定している奨学金要項の1ページをコピーし添付してください。1ヶ月以内に該当する奨学金の申し込みを行い、申請書のコピーを送ってください。